

第19回報告書では、剤形変更に関連した処方提案に関する事例について、患者の服薬状況を考慮して処方提案を行った事例と薬剤の特性を考慮して処方提案を行った事例に分類し、分析した。患者の服薬状況を考慮して処方提案を行った事例については、処方された薬剤の剤形、患者の年齢、患者の服薬が困難な要因、変更になった薬剤の剤形を整理し、事例の内容を紹介した。また、薬剤の特性を考慮して処方提案を行った事例については、処方された薬剤と変更になった薬剤、錠剤の特性をまとめ、本事業に報告された事例の内容や、医療事故情報収集等事業に報告された事例を紹介した。

図表 I - 3 患者の服薬が困難な要因

要因		件数
内服薬	錠剤が飲めない	23
	散剤が飲めない	21
	カプセルが飲めない	8
	大きい錠剤が飲めない	3
	顆粒が飲めない	2
	シロップが飲めない	2
	嘔吐があり経口できない	1
	散剤が包装内に残ってしまう	1
	服用時に水がない	1
外用薬	吸入できない	7
	デバイスが使いにくい	2
	塗布しにくい	2
合計		73

注) 一つの事例に複数の要因が報告された事例がある。

(2) 医薬品の販売に関する事例

薬局には、調剤だけではなく、地域住民による主体的な健康の維持・増進を支援する機能、いわゆる健康サポート機能の発揮が期待され、その取り組みの一つに、医薬品等の安全かつ適正な使用に関する助言を行うことが求められている。本事業が収集対象としている事例には、処方箋による調剤の事例や疑義照会の事例の他に、薬局における一般用医薬品等の販売に関する事例も含まれる。そこで、第19回報告書の対象期間（2018年1月～6月）に報告された事例から、医薬品の販売に関する事例をテーマとして取り上げ、分析を行った。

第19回報告書では、使用者の年齢や性別、報告された医薬品等の分類と販売名をまとめた。さらに、不適切な販売を回避した事例と、不適切な販売の事例に分類し、分析した。不適切な販売を回避した事例では、販売時に判断する契機となった情報などを整理し、事例の内容を紹介した。また、不適切な販売の事例では、事例の内容と販売名をまとめ、薬局から報告された改善策を紹介した。

図表 I-4 疾患・病態が判断する契機となった事例

疾患・病態	販売名	件数
前立腺肥大による排尿困難	パイロンPL顆粒	3
	グ・スリーP ^{※1}	1
	クロルフェニラミンマレイン酸塩含有医薬品 ^{※2}	1
	パブロンSゴールドW	1
	パブロンゴールドA ^{※3}	1
	ベンザブロックS	1
緑内障	グ・スリーP ^{※1}	1
	クロルフェニラミンマレイン酸塩含有医薬品 ^{※2}	1
	新アルシン鼻炎カプセル	1
	新ルルAゴールドDX	1
	ストナリニS	1
	ドリエル	1
	ベンザブロックS	1
	かぜ薬（販売名不明）	1
喘息	ロキソニンS	2
	セデス ^{※3}	1
腎不全（透析）	太田胃散	1
	第一三共胃腸薬プラス ^{※3}	1
	パブロンゴールドA ^{※3}	1
胃潰瘍	ロキソニンS	2
インフルエンザ	バファリンA	1
甲状腺機能亢進症	リアップX5プラスローション	1
心臓疾患	イチジク浣腸 ^{※3}	1
不明	プレフェミン	1

※1 判断する契機となった疾患・病態が複数記載された事例である。

※2 販売名は報告された事例に記載がなかったため不明である。

※3 規格・剤形等は報告された事例に記載がなかったため不明である。

(3) 「共有すべき事例」の再発・類似事例

<配合薬の重複処方に関する疑義照会の事例>

本事業では、報告されたヒヤリ・ハット事例の中から、特に広く医療安全対策に有用な情報として共有することが必要であると思われる事例を「共有すべき事例」として選定し、「事例のポイント」を付してホームページに掲載している。しかし、一度の情報提供により同種の事例の発生がなくなることは容易ではないことから、基本的かつ重要と考えられる内容については、繰り返し情報提供し注意喚起を行うことが必要である。そこで、平成23年年报から継続して、「共有すべき事例」の再発・類似事例を年报のテーマに取り上げ、注意喚起を行っている。第19回報告書においても、年报と同様に、過去に取り上げた「共有すべき事例」の中からテーマを選び、対象期間（2018年1月～6月）に報告された再発・類似事例について分析した。



配合薬は、患者が内服または使用する医薬品の数を減らすことができ、コンプライアンスの向上が期待できるという利点がある一方、薬剤名からは配合されている成分がわかりにくいという欠点があり、成分や薬効が同じ薬剤が重複して処方されたことにより疑義照会を行った事例が報告されている。そこで、第19回報告書では、配合薬の重複処方に関する疑義照会の事例をテーマとして取り上げ、対象期間（2018年1月～6月）に報告された事例の中から再発・類似事例を集計した。さらに、報告された配合薬について、内服薬と外用薬に分けて整理し、配合薬と重複した薬剤の組み合わせを示した。また、主な事例の内容や、薬局から報告された主な改善策を紹介した。

図表 I - 5 内服薬の報告回数（一部抜粋）

薬効		医薬品名	報告回数	
降圧薬	C a 拮抗薬 +アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬	アイミクス配合錠LD/H D	11	41
		ミカムロ配合錠A P / B P	10	
		テラムロ配合錠B P		
		【般】テルミサルタン80mg・ アムロジピン配合錠		
		ザクラス配合錠H D		
		アムバロ配合錠	4	
		エックスフォージ配合錠		
		カムシア配合錠LD/H D		
		ユニシア配合錠LD	4	
		レザルタス配合錠H D	3	
	アテディオ配合錠	2		
	アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬 +サイアザイド利尿薬	カデチア配合錠H D	1	3
		テルチア配合錠A P	1	
ロサルヒド配合錠LD		1		
C a 拮抗薬 +HMG-C o A還元酵素阻害薬	アマルエット配合錠4番	3		
	カデュエット配合錠4番			
	【般】アムロジピン5mg・ アトルバスタチン10mg配合錠：4			
糖尿病 治療薬	D P P - 4 阻害薬 +ビグアナイド類	エクメット配合錠LD/H D	9	11
		イニシンク配合錠	2	
	D P P - 4 阻害薬 +S G L T 2 阻害薬	カナリア配合錠	6	26
	D P P - 4 阻害薬 +チアゾリジン誘導体	リオベル配合錠LD/H D	4	
	チアゾリジン誘導体 +ビグアナイド類	メタクト配合錠LD/H D	3	
	チアゾリジン誘導体 +スルホニル尿素類	ソニアス配合錠H D	1	
速効型インスリン分泌促進薬 +α グルコシダーゼ阻害薬	ゲルベス配合錠	1		

4 共有すべき事例

本事業では、報告された事例の中から、特に広く医療安全対策に有用な情報として共有することが必要であると思われる事例を「共有すべき事例」として選定し、事例のポイントを付してホームページに掲載している。

本年报には、2018年の「共有すべき事例」について、「事例の概要」を整理して一覧とともに掲載した。「共有すべき事例」は本事業ホームページから閲覧・ダウンロードが可能であり、キーワードで検索することもできるので、ご活用いただきたい。

図表 I - 6 共有すべき事例の検索

The diagram illustrates the search process for '共有すべき事例' (Cases to be shared). It consists of three main parts:

- Navigation Menu:** A grid of buttons for various functions: 事業のご案内, 参加薬局一覧, 参加の手引き, 参加登録, 事例報告 ログイン, 共有すべき事例 (highlighted), 共有すべき事例 検索, 報告書・年報, 分析テーマ, 事例から学ぶ, 分析表, 年報(本文) 検索, 本事業は、薬局から報告されたヒヤリ・ハット事例を分析し、提供することにより、医療安全対策の一環の推進を図ることを目的としています。 (Mission statement), 医療事故情報 収集等事業 (薬局関係), 事例検索, 関連文書, 事業要綱, お問合せはこちら.
- Search Interface:** A screenshot of the '共有すべき事例検索' (Search for cases to be shared) page. It includes a search bar, a dropdown for '対象年' (Target year), a section for '事例の概要' (Case summary) with checkboxes for 調剤, 疑義照会, 特定保険医療材料, and 医薬品の販売, a 'キーワード入力' (Keyword input) field, and a '表示件数' (Number of items to display) dropdown set to 0件.
- Results List:** A screenshot of the search results page, showing a list of '最新の共有すべき事例' (Latest cases to be shared) and '過去の共有すべき事例' (Past cases to be shared). The latest case is from 2019, No. 5. The past cases are listed by year (2019, 2018, 2017, 2016, 2015) and month.

5 事業の現況

本年报の「V 事業の現況」には、事業のトピックスや海外へ向けた情報発信などをまとめて紹介している。本年报では、本事業のホームページのアクセス件数や、事例を活用した製薬企業の取り組み、医療事故情報収集等事業との連携などを取り上げている。また、2018年に海外で開催された国際会議等における情報発信や情報収集について概要を紹介している。



集計報告



1 事業参加薬局

2018年12月31日現在、薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業の参加薬局数は以下の通りである。

図表Ⅱ-1-1 事業参加薬局数

事業参加薬局数	33,083
---------	--------

図表Ⅱ-1-2 事業参加薬局数の推移

	2018年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
事業参加薬局数*	13,043	14,934	17,870	19,610	21,899	24,07	27,122	29,311	30,221	31,206	32,061	33,083

※ 各月末の薬局数を示す。

図表Ⅱ-1-3 都道府県別事業参加薬局数

都道府県	事業参加 薬局数	都道府県	事業参加 薬局数	都道府県	事業参加 薬局数	都道府県	事業参加 薬局数
北海道	1,408	東京都	3,694	滋賀県	405	香川県	329
青森県	315	神奈川県	2,104	京都府	653	愛媛県	309
岩手県	220	新潟県	694	大阪府	2,744	高知県	215
宮城県	651	富山県	286	兵庫県	1,777	福岡県	1,484
秋田県	255	石川県	348	奈良県	389	佐賀県	286
山形県	278	福井県	129	和歌山県	248	長崎県	374
福島県	490	山梨県	213	鳥取県	105	熊本県	370
茨城県	667	長野県	602	島根県	187	大分県	250
栃木県	549	岐阜県	518	岡山県	418	宮崎県	242
群馬県	443	静岡県	1,118	広島県	664	鹿児島県	382
埼玉県	1,516	愛知県	1,818	山口県	686	沖縄県	131
千葉県	1,316	三重県	587	徳島県	216	合計	33,083

2 報告件数

報告件数は以下の通りである。

図表Ⅱ－2－1 報告件数

	2018年
報告月	1月～12月
事業参加薬局数 [※]	33,405
事業参加薬局のうち報告のあった薬局数	22,131
報告件数	79,973

※ 2018年1月～12月に事業に参加していた薬局数を示す。

図表Ⅱ－2－2 月別報告件数

	2018年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
報告件数	1,988	4,284	3,761	3,134	3,645	3,772	3,639	4,995	5,155	8,860	12,719	24,021

図表Ⅱ－2－3 薬剤師数別事業参加薬局数及び報告件数

薬剤師数 (常勤換算)	事業参加薬局数		報告件数	
	2018年1月～12月		2018年1月～12月	
1人	6,678		9,301	
2人	11,246		22,432	
3人	6,900		18,088	
4人	3,746		11,961	
5人	2,018		6,977	
6人	1,148		4,357	
7人	663		2,601	
8人	364		1,309	
9人	212		959	
10人	167		658	
11人以上	263		1,330	
合計	33,405		79,973	

Ⅱ

1

2

3

4

報告件数

図表Ⅱ－２－４ 処方せんを応需した回数別事業参加薬局数及び報告件数

処方せんを応需した回数 (月間)	事業参加薬局数	報告件数
	2018年1月～12月	2018年1月～12月
0～500回	4,278	5,083
501～1000回	9,362	17,672
1001～1500回	8,340	19,625
1501～2000回	5,268	15,542
2001～2500回	2,516	7,904
2501～3000回	1,470	5,308
3001～3500回	759	2,662
3501～4000回	552	2,514
4001回以上	860	3,663
合計	33,405	79,973

図表Ⅱ－２－５ 医療用医薬品の取扱品目数別事業参加薬局数及び報告件数

医療用医薬品の取扱品目数	事業参加薬局数	報告件数
	2018年1月～12月	2018年1月～12月
0～100品目	73	72
101～500品目	1,831	1,801
501～1000品目	7,540	10,985
1001～1500品目	16,490	44,105
1501～2000品目	5,499	16,546
2001～2500品目	1,476	4,677
2501～3000品目	338	1,228
3001品目以上	158	559
合計	33,405	79,973

図表Ⅱ－2－6 後発医薬品の取扱品目数別事業参加薬局数及び報告件数

後発医薬品の取扱品目数	事業参加薬局数	報告件数
	2018年1月～12月	2018年1月～12月
0～100品目	1,899	1,842
101～500品目	22,783	53,554
501～1000品目	8,164	23,312
1001～1500品目	479	1,022
1501～2000品目	55	177
2001～2500品目	5	9
2501～3000品目	1	4
3001品目以上	19	53
合計	33,405	79,973

図表Ⅱ－2－7 一般用医薬品の取扱品目数別事業参加薬局数及び報告件数

一般用医薬品の取扱品目数	事業参加薬局数	報告件数
	2018年1月～12月	2018年1月～12月
0品目	3,341	5,245
1～10品目	7,764	17,501
11～50品目	10,471	26,579
51～100品目	4,950	14,050
101～150品目	1,373	4,192
151～200品目	811	2,555
201～250品目	407	1,322
251～300品目	530	1,329
301～500品目	1,004	2,218
501～1000品目	1,066	2,107
1001品目以上	1,688	2,875
合計	33,405	79,973

Ⅱ

1

2

3

4

報告件数

図表Ⅱ-2-8 処方せんを応需している医療機関数別事業参加薬局数及び報告件数

処方せんを応需している 医療機関数	事業参加薬局数		報告件数	
	2018年1月～12月		2018年1月～12月	
0～10	3,353		6,094	
11～20	4,709		8,915	
21～30	4,269		9,373	
31～40	3,732		9,324	
41～50	3,315		8,203	
51～60	2,305		5,398	
61～70	1,875		5,435	
71～80	1,489		3,936	
81～90	1,171		3,157	
91～100	1,239		3,546	
101以上	5,948		16,592	
合計	33,405		79,973	

図表Ⅱ-2-9 後発医薬品調剤率別事業参加薬局数及び報告件数

後発医薬品調剤率	事業参加薬局数		報告件数	
	2018年1月～12月		2018年1月～12月	
10%未満	165		102	
10%以上20%未満	748		693	
20%以上30%未満	1,154		1,529	
30%以上40%未満	1,481		2,793	
40%以上50%未満	1,377		2,649	
50%以上60%未満	2,303		5,372	
60%以上70%未満	4,135		9,855	
70%以上80%未満	10,311		25,427	
80%以上90%未満	10,697		28,965	
90%以上	1,034		2,588	
合計	33,405		79,973	

図表Ⅱ-2-10 都道府県別事業参加薬局数及び報告件数

都道府県	事業参加 薬局数	報告件数	都道府県	事業参加 薬局数	報告件数	都道府県	事業参加 薬局数	報告件数
	2018年1月～12月			2018年1月～12月			2018年1月～12月	
北海道	1,435	3,101	石川県	350	676	岡山県	426	1,254
青森県	318	510	福井県	130	321	広島県	670	2,388
岩手県	220	390	山梨県	216	337	山口県	694	2,886
宮城県	659	1,251	長野県	602	1,802	徳島県	219	355
秋田県	260	470	岐阜県	525	812	香川県	336	800
山形県	283	456	静岡県	1,122	2,338	愛媛県	311	419
福島県	498	1,083	愛知県	1,827	3,022	高知県	217	425
茨城県	674	1,932	三重県	591	1,189	福岡県	1,502	3,202
栃木県	563	940	滋賀県	408	1,424	佐賀県	289	511
群馬県	447	788	京都府	654	1,475	長崎県	376	1,237
埼玉県	1,525	3,964	大阪府	2,757	6,956	熊本県	370	698
千葉県	1,324	3,053	兵庫県	1,795	4,478	大分県	250	808
東京都	3,745	10,180	奈良県	392	867	宮崎県	243	987
神奈川県	2,128	5,411	和歌山県	249	706	鹿児島県	384	816
新潟県	704	1,479	鳥取県	106	238	沖縄県	131	307
富山県	288	694	島根県	192	537	合計	33,405	79,973

Ⅱ
1
2
3
4
報告件数

図表Ⅱ-2-11 報告件数別事業参加薬局数

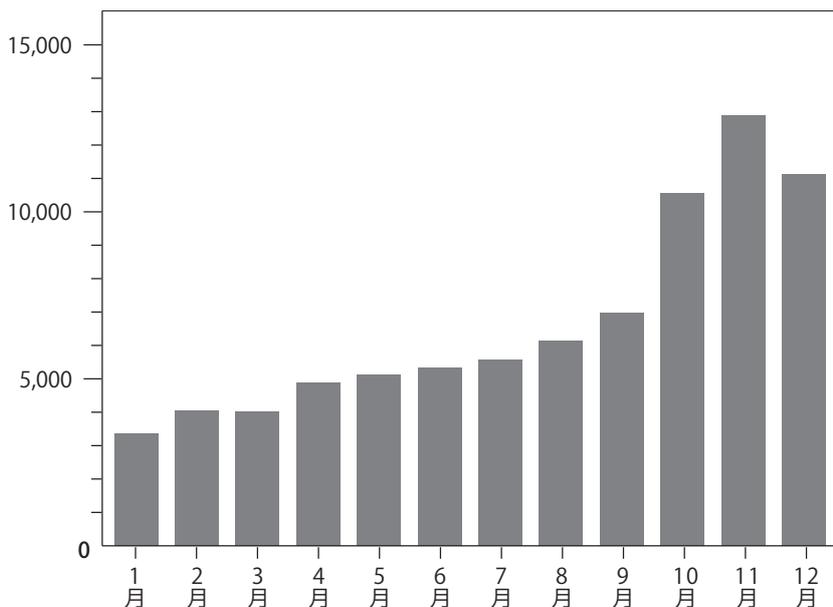
報告件数	事業参加薬局数
	2018年1月～12月
0	11,274
1～5	18,869
6～10	1,954
11～20	959
21～30	181
31～40	66
41～50	31
51以上	71
合計	33,405

3 報告内容

2018年に報告された事例79,973件について、各項目の集計を行った結果は以下の通りである。なお、割合については小数点第2位を四捨五入したものであり、合計が100.0にならないことがある。

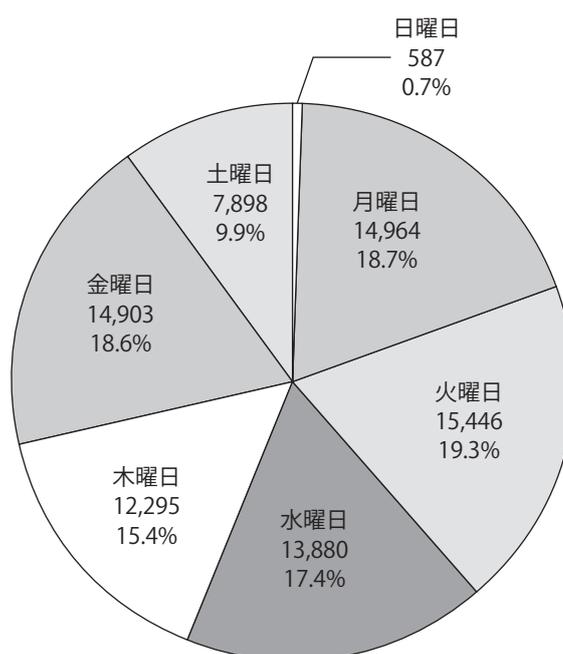
図表Ⅱ-3-1 発生月

発生月	件数
1月	3,351
2月	4,039
3月	4,011
4月	4,888
5月	5,134
6月	5,338
7月	5,557
8月	6,131
9月	6,965
10月	10,551
11月	12,898
12月	11,110
合計	79,973



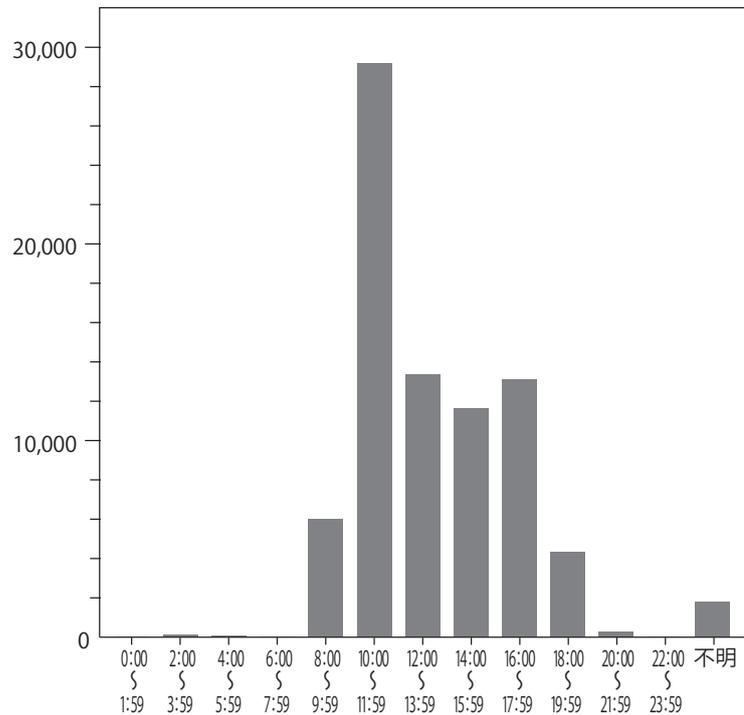
図表Ⅱ-3-2 発生曜日

発生曜日	件数
日曜日	587
月曜日	14,964
火曜日	15,446
水曜日	13,880
木曜日	12,295
金曜日	14,903
土曜日	7,898
合計	79,973



図表Ⅱ-3-3 発生時間帯

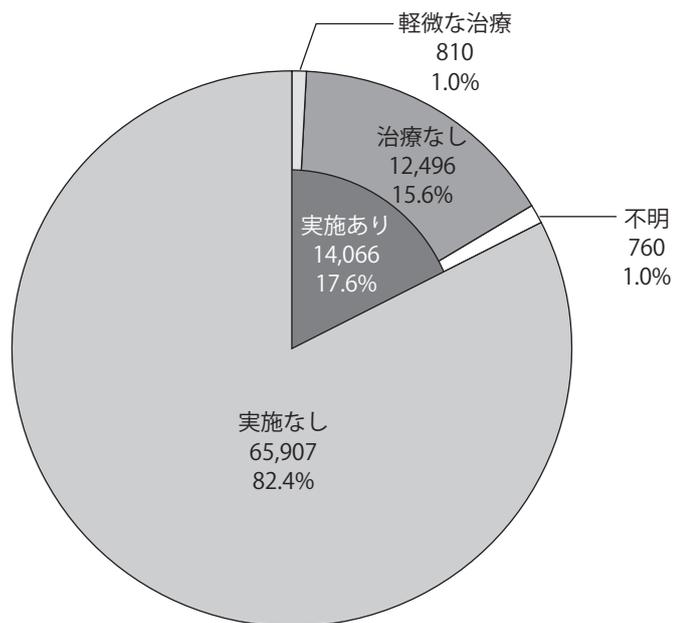
発生時間帯	件数
0:00～1:59	32
2:00～3:59	106
4:00～5:59	57
6:00～7:59	16
8:00～9:59	5,992
10:00～11:59	29,174
12:00～13:59	13,376
14:00～15:59	11,628
16:00～17:59	13,110
18:00～19:59	4,353
20:00～21:59	295
22:00～23:59	24
不明	1,810
合計	79,973



Ⅱ
1
2
3
4
報告内容

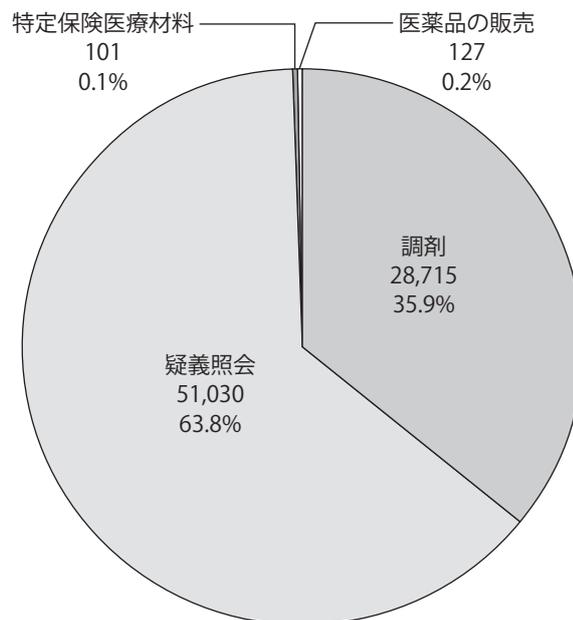
図表Ⅱ-3-4 実施の有無、治療の程度

実施の有無 治療の程度		件数
実施あり	軽微な治療	810
	治療なし	12,496
	不明	760
実施なし		65,907
合計		79,973



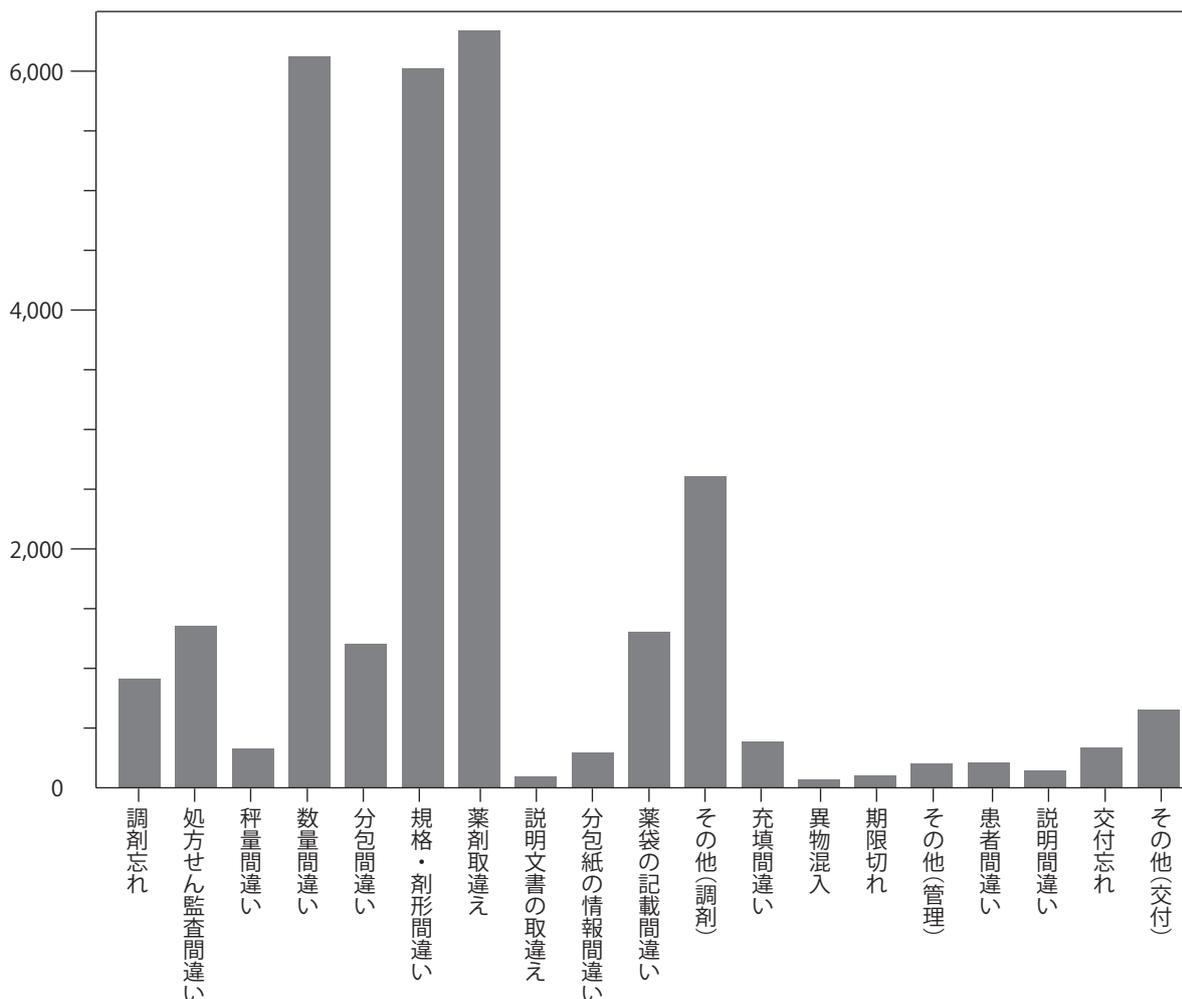
図表Ⅱ-3-5 事例の概要

事例の概要	件数
調剤	28,715
疑義照会	51,030
特定保険医療材料	101
医薬品の販売	127
合計	79,973



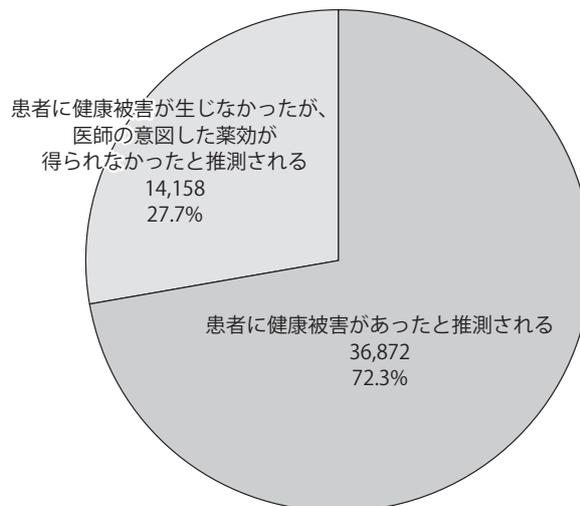
図表Ⅱ-3-6 調剤に関する項目

発生場面	事例の内容	件数	発生場面	事例の内容	件数
調剤	調剤忘れ	912	管理	充填間違い	384
	処方せん監査間違い	1,354		異物混入	72
	秤量間違い	330		期限切れ	101
	数量間違い	6,124		その他(管理)	203
	分包間違い	1,204	交付	患者間違い	211
	規格・剤形間違い	6,024		説明間違い	144
	薬剤取換え	6,342		交付忘れ	336
	説明文書の取換え	99		その他(交付)	658
	分包紙の情報間違い	296	合 計		28,715
	薬袋の記載間違い	1,308			
	その他(調剤)	2,613			

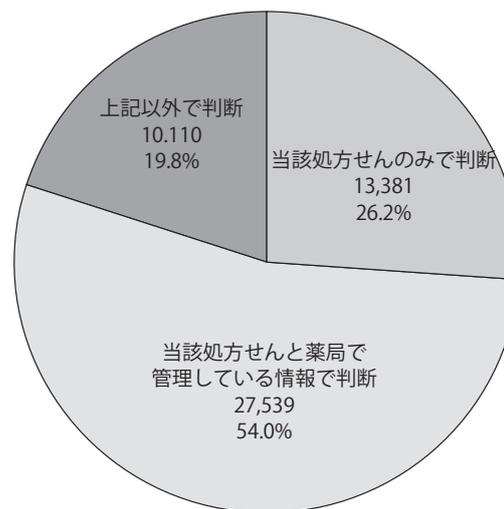


図表Ⅱ-3-7 疑義照会に関する項目

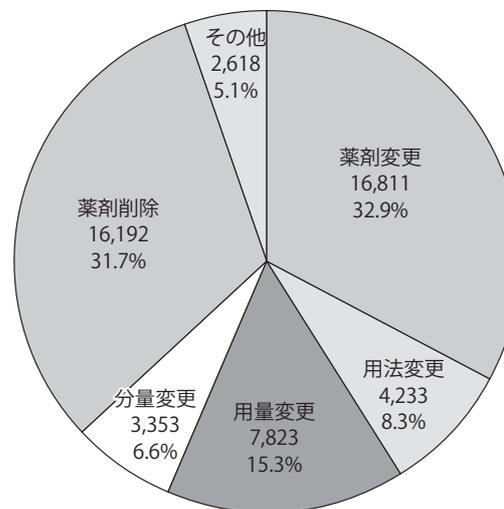
仮に変更前の処方通りに服用した場合の影響	件数
患者に健康被害があったと推測される	36,872
患者に健康被害が生じなかったが、医師の意図した薬効が得られなかったと推測される	14,158
合計	51,030



疑義があると判断した理由	件数
当該処方せんのみで判断	13,381
当該処方せんと薬局で管理している情報で判断	27,539
上記以外で判断	10,110
合計	51,030



変更内容	件数
薬剤変更	16,811
用法変更	4,233
用量変更	7,823
分量変更	3,353
薬剤削除	16,192
その他	2,618
合計	51,030



Ⅱ

1

2

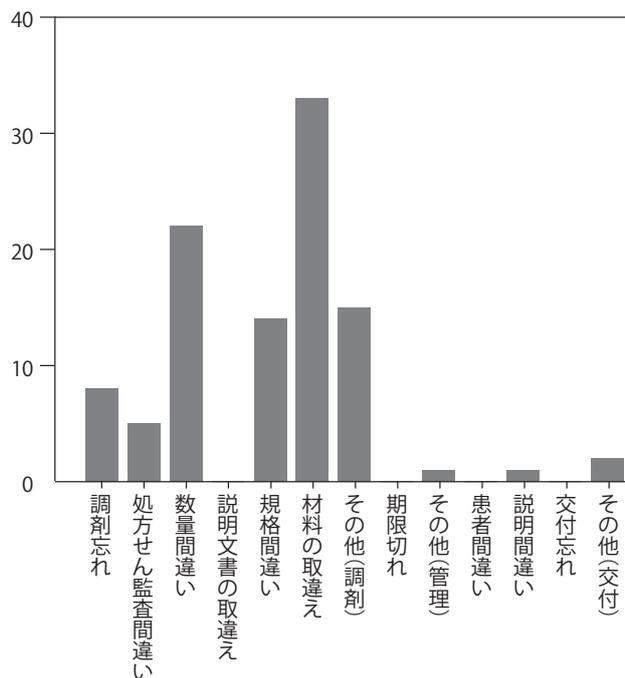
3

4

報告内容

図表Ⅱ-3-8 特定保険医療材料に関する項目

発生場面	事例の内容	件数
調剤	調剤忘れ	8
	処方せん監査間違い	5
	数量間違い	22
	説明文書の取違え	0
	規格間違い	14
	材料の取違え	33
	その他（調剤）	15
管理	期限切れ	0
	その他（管理）	1
交付	患者間違い	0
	説明間違い	1
	交付忘れ	0
	その他（交付）	2
合 計		101



Ⅱ

1

2

3

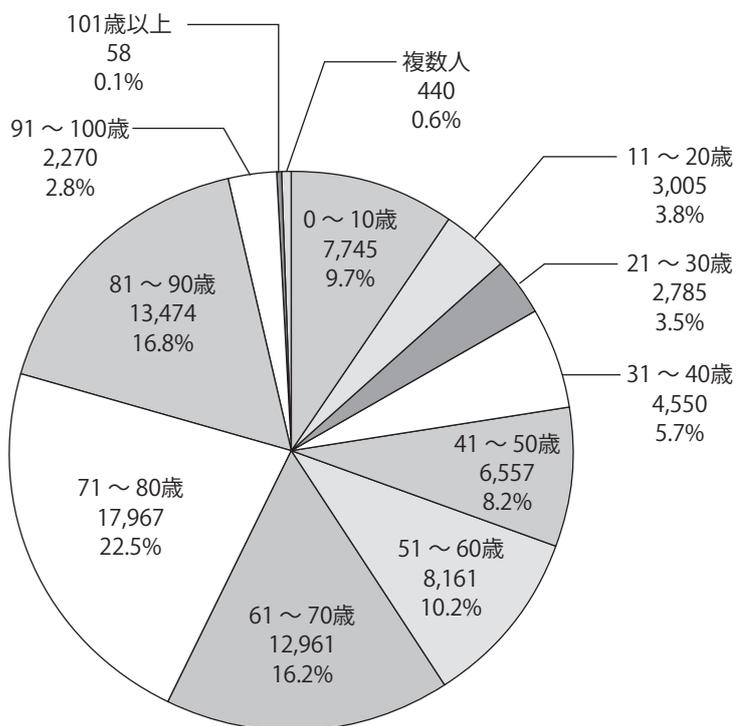
4 報告内容

図表Ⅱ-3-9 医薬品の販売に関する項目

事例の内容	件数
商品間違い	2
説明間違い	4
期限切れ	6
その他	115
合 計	127

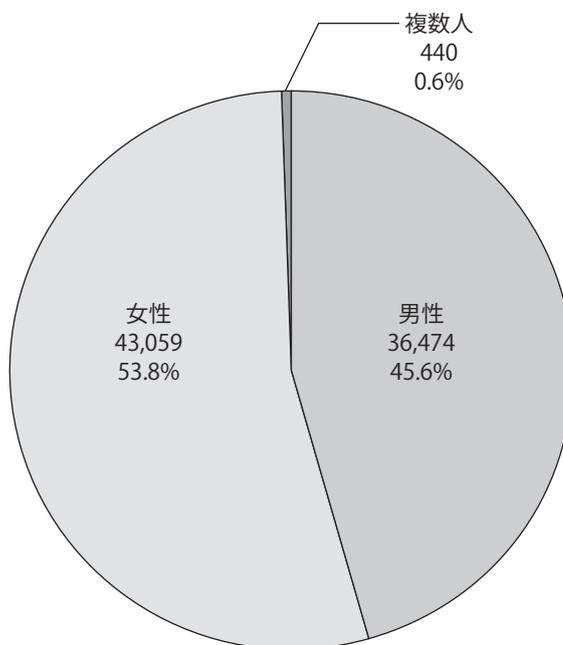
図表Ⅱ-3-10 患者の年齢

患者の年齢	件数
0～10歳	7,745
11～20歳	3,005
21～30歳	2,785
31～40歳	4,550
41～50歳	6,557
51～60歳	8,161
61～70歳	12,961
71～80歳	17,967
81～90歳	13,474
91～100歳	2,270
101歳以上	58
複数人	440
合計	79,973



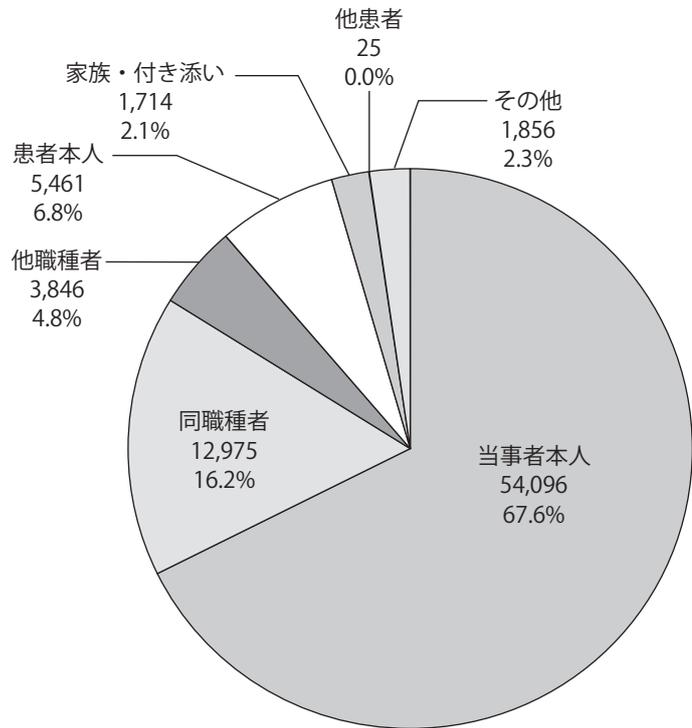
図表Ⅱ-3-11 患者の性別

患者の性別	件数
男性	36,474
女性	43,059
複数人	440
合計	79,973



図表Ⅱ-3-12 発見者

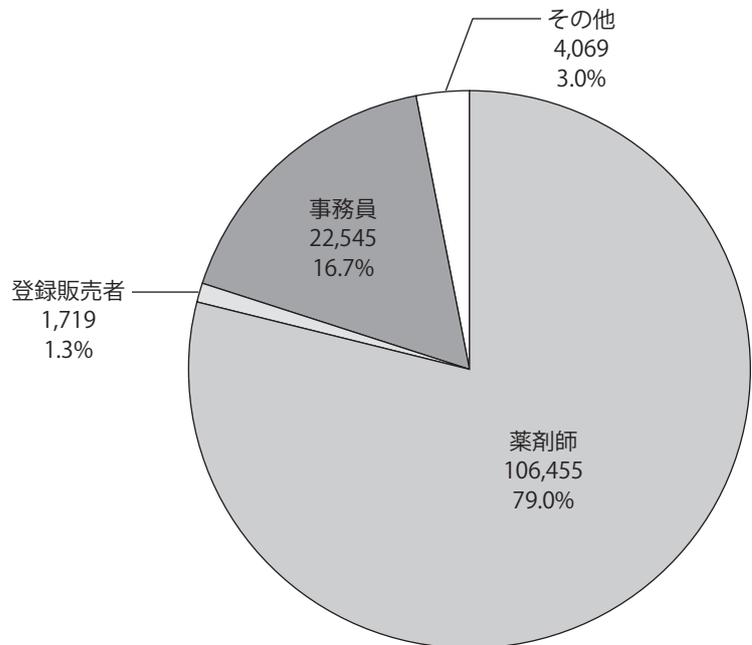
発見者	件数
当事者本人	54,096
同職種者	12,975
他職種者	3,846
患者本人	5,461
家族・付き添い	1,714
他患者	25
その他	1,856
合計	79,973



図表Ⅱ-3-13 当事者

当事者	件数
薬剤師	106,455
登録販売者	1,719
事務員	22,545
その他	4,069
合計	134,788

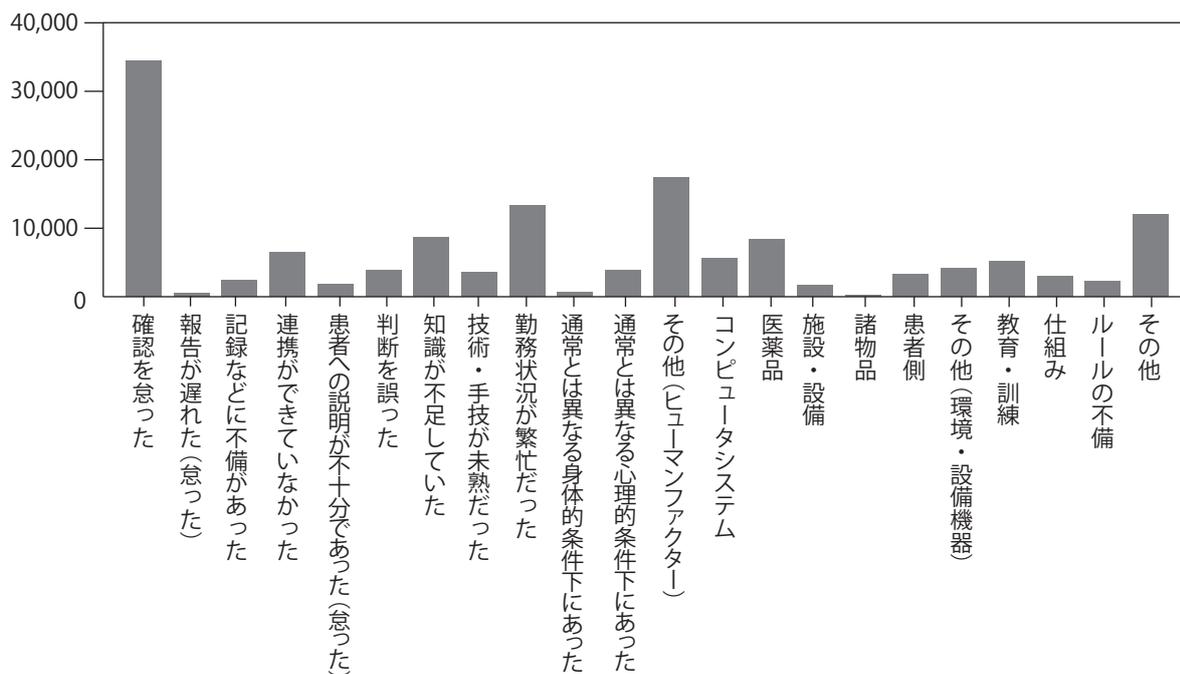
※「当事者」は複数回答が可能である。



図表Ⅱ-3-14 発生要因

発生要因*		件数		
当事者の行動に関わる要因	確認を怠った	34,392		
	報告が遅れた(怠った)	558		
	記録などに不備があった	2,421		
	連携ができていなかった	6,450		
	患者への説明が不十分であった(怠った)	1,826		
	判断を誤った	3,929		
背景・システム・環境要因	ヒューマンファクター	知識が不足していた	8,659	
		技術・手技が未熟だった	3,541	
		勤務状況が繁忙だった	13,267	
		通常とは異なる身体的条件下にあった	660	
		通常とは異なる心理的条件下にあった	3,882	
		その他(ヒューマンファクター)	17,421	
	環境・設備機器	コンピュータシステム	5,581	
		医薬品	8,363	
		施設・設備	1,693	
		諸物品	169	
		患者側	3,323	
		その他(環境・設備機器)	4,155	
	その他	教育・訓練	5,111	
		仕組み	2,923	
		ルールの不備	2,330	
		その他	12,073	
		合 計		142,727

*「発生要因」は複数回答が可能である。



図表Ⅱ-3-15 発生要因×事例の概要

発生要因※	事例の概要				合計
	調剤	疑義照会	特定保険 医療材料	医薬品の 販売	
確認を怠った	25,413	8,861	83	35	34,392
報告が遅れた（怠った）	267	290	0	1	558
記録などに不備があった	498	1,916	2	5	2,421
連携ができていなかった	916	5,523	5	6	6,450
患者への説明が不十分であった（怠った）	826	981	4	15	1,826
判断を誤った	2,496	1,423	4	6	3,929
知識が不足していた	3,545	5,064	24	26	8,659
技術・手技が未熟だった	2,906	622	10	3	3,541
勤務状況が繁忙だった	10,031	3,209	19	8	13,267
通常とは異なる身体的条件下にあった	479	177	1	3	660
通常とは異なる心理的条件下にあった	3,646	227	6	3	3,882
その他（ヒューマンファクター）	2,087	15,316	9	9	17,421
コンピュータシステム	2,019	3,551	7	4	5,581
医薬品	4,568	3,775	7	13	8,363
施設・設備	1,192	495	4	2	1,693
諸物品	70	96	2	1	169
患者側	286	2,996	2	39	3,323
その他（環境・設備機器）	326	3,827	1	1	4,155
教育・訓練	2,445	2,642	7	17	5,111
仕組み	1,227	1,687	0	9	2,923
ルールの不備	1,570	750	6	4	2,330
その他	587	11,461	5	20	12,073
合計	67,400	74,889	208	230	142,727

※「発生要因」は複数回答が可能である。

図表Ⅱ-3-16 発生要因×当事者

発生要因※	当事者※				合計
	薬剤師	登録販売者	事務員	その他	
確認を怠った	50,630	938	12,999	2,190	66,757
報告が遅れた(怠った)	733	23	171	40	967
記録などに不備があった	3,265	49	866	310	4,490
連携ができていなかった	8,465	143	1,783	670	11,061
患者への説明が不十分であった(怠った)	2,431	41	557	141	3,170
判断を誤った	5,780	81	1,359	376	7,596
知識が不足していた	12,915	242	3,062	796	17,015
技術・手技が未熟だった	5,345	111	1,406	150	7,012
勤務状況が繁忙だった	20,147	398	5,317	636	26,498
通常とは異なる身体的条件下にあった	911	17	184	33	1,145
通常とは異なる心理的条件下にあった	4,944	84	857	73	5,958
その他(ヒューマンファクター)	21,204	238	3,113	658	25,213
コンピュータシステム	7,713	185	2,351	501	10,750
医薬品	12,325	246	3,016	416	16,003
施設・設備	2,489	50	580	102	3,221
諸物品	239	7	55	13	314
患者側	4,116	83	738	171	5,108
その他(環境・設備機器)	5,161	67	1,455	146	6,829
教育・訓練	7,661	172	2,129	327	10,289
仕組み	4,117	73	1,096	321	5,607
ルールの不備	3,602	87	924	157	4,770
その他	14,520	202	2,302	385	17,409
合計	198,713	3,537	46,320	8,612	257,182

※「発生要因」、「当事者」は複数回答が可能である。

図表Ⅱ-3-17 事例の概要×実施の有無・治療の程度

事例の概要	実施の有無・治療の程度				合計
	実施あり			実施なし	
	軽微な治療	治療なし	不明		
調剤	418	10,314	464	17,519	28,715
疑義照会	391	2,115	292	48,232	51,030
特定保険医療材料	1	48	0	52	101
医薬品の販売	0	19	4	104	127
合 計	810	12,496	760	65,907	79,973

図表Ⅱ-3-18 発生時間帯×発生曜日

発生時間帯	発生曜日							合計
	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
0:00～1:59	1	1	8	6	9	3	4	32
2:00～3:59	1	22	20	18	23	16	6	106
4:00～5:59	0	12	9	7	16	11	2	57
6:00～7:59	1	2	4	2	3	2	2	16
8:00～9:59	38	1,064	1,058	990	934	1,047	861	5,992
10:00～11:59	213	5,497	5,389	4,794	4,349	4,822	4,110	29,174
12:00～13:59	113	2,405	2,513	2,390	2,081	2,292	1,582	13,376
14:00～15:59	78	2,150	2,306	2,205	1,966	2,310	613	11,628
16:00～17:59	85	2,512	2,795	2,349	1,977	2,964	428	13,110
18:00～19:59	24	894	925	755	616	1,033	106	4,353
20:00～21:59	17	55	58	54	39	57	15	295
22:00～23:59	0	4	6	2	3	4	5	24
不 明	16	346	355	308	279	342	164	1,810
合 計	587	14,964	15,446	13,880	12,295	14,903	7,898	79,973

4 販売名に関する集計

2018年1月1日から同年12月31日に報告された事例79,973件について、販売名の集計を行った。なお、販売名は規格を除いて集計し、一般的名称に屋号が付されている後発医薬品については、屋号を除いた医薬品名で集計した。販売名の報告回数は以下の通りである。

図表Ⅱ-4-1 販売名の報告回数

	報告回数
医療用医薬品	120,283
後発医薬品	42,002
新規収載医薬品*	698
特定保険医療材料	151
医薬品の販売	128

* 当事業における「新規収載医薬品」とは、事例発生日において薬価収載1年未満の新医薬品とする。

【1】「調剤」と「疑義照会」の事例

図表Ⅱ-4-2 「調剤」の事例に報告された医療用医薬品

(報告回数上位)

販売名	報告回数			合計
	処方された 医薬品	間違えた 医薬品	関連医薬品	
アムロジピン錠／OD錠	240	281	250	771
ロキソプロフェンナトリウム (Na) テープ	171	178	83	432
ロスバスタチン錠／OD錠	119	153	84	356
オルメサルタン錠／OD錠	112	116	81	309
カルボシステイン錠	84	115	105	304
アトルバスタチン錠／OD錠	88	97	70	255
カロナール錠	67	69	114	250
酸化マグネシウム錠	65	74	86	225
マグミット錠	70	61	94	225
モーラステープ	72	51	89	212